



# FireEyeエンドポイント・セキュリティ スペック・シート

## 概要

FireEyeエンドポイント・セキュリティは、さまざまな従来型エンドポイント・セキュリティ技術と、FireEyeのテクノロジー、専門知識、インテリジェンスを統合し、サイバー攻撃からお客様のエンドポイントを守ります。

## 導入方法

FireEyeエンドポイント・セキュリティは、最大10万台のエンドポイントを保護可能なオンプレミスのハードウェア・アプライアンスのほか、仮想アプライアンス、クラウドインスタンスとしても利用可能です。ハードウェア・アプライアンスであるHX 4502は、LAN環境、DMZ環境どちらでも利用可能です。同じハードウェアに、それぞれ異なるライセンスを用いることで使い分けできます。

表1: 仮想アプライアンスの仕様

ライセンス・モデル	HX2500V (D)	HX2502V	HX4500V (D)	HX4502V
サポートする最大エンドポイント数	1万5,000	1万5,000	10万	10万
CPU	4コア	4コア	8コア	8コア
メモリ	16 GB RAM	16 GB RAM	64 GB RAM	64 GB RAM
ディスク	512 GBディスク	1,200 GBディスク	1,200 GBディスク	3,600 GBディスク
仮想NIC数	vmxnet3 インタフェース 2基	vmxnet3 インタフェース 2基	vmxnet3 インタフェース 2基	vmxnet3 インタフェース 2基

## 仮想アプライアンスのシステム要件

FireEyeエンドポイント・セキュリティ 仮想アプライアンスには、以下のVMwareリソースが必要:

- VMware ESXiホスト・バージョン6.0以降 (これより前のバージョンのESXiはサポートされません)
- VMware vSphere Client
- VMXNET 3ネットワーク・ドライバ

- ESXiサーバーの物理ネットワーク・アダプタに接続された、仮想アプライアンスの監視ポート用の標準的仮想スイッチ
- VMware vCenter Server (推奨)。vCenter ServerにvSphere Clientを使用して仮想アプライアンスを追加する場合、Deploy OVG Templateウィザードを使うと、簡単にアクティベーション・コードが入力できます。このウィザードを使用しない場合、仮想アプライアンス・コンソールにコードを手動入力する必要があります (コンソールにはペーストできないため)。

表2: 物理アプライアンスの仕様

モデル名	HX4502 / HX4502-D
管理可能な最大エンドポイント数	10万
フォーム・ファクタ	1U
CPUの仕様	E3-1240 v5, 4c, 3.5GHz
CPU数	1
メモリの仕様	DDR4 ECC UDIMM 16GB、2133MHz
DIMM数	4
合計メモリ (GB)	64
マザーボードのインタフェース・ポート	1GigE BaseT 2ポート、IPMI 1ポート、USB2 2ポート (背面)、USB3 2ポート (背面)、DB9シリアル1ポート、VGA 1ポート
アドオン・モジュール	TPM 1.2 (9655 4.34)
アドオン・カード	LSI9341-4i, 1GigE BaseT 2ポート
実効ストレージ容量	8 TB
ストレージ数	4
1台あたりのストレージ容量	4 TB
ストレージの種類	HDD、3.5インチ、SAS3、7.2 krpm
RAID タイプ	RAID 10
シャーシの寸法 (幅×奥行×高さ)	437×650×43.2 mm
シャーシの重量	13.6 Kg
梱包時の寸法 (幅×奥行×高さ)	880×600×180 mm
梱包時の重量	18.6 Kg
最大熱出力 (BTU/時) (W)	836 BTU/時 (245 W)
PSU	冗長電源 (1+1) 750W、100~240 VAC、8.0-4.5 A、50-60 Hz、IEC60320-C14インレット、フィールド交換対応
平均故障間隔 (MTBF) (時)	54,200
安全性に関する適合規格	UL 60950-1-2014; CAN/; CSA C22.2 No. 60950-1-07; Am.1:2011+Am.2:2014; AS/NSZ 60950.1- 2011
EMCの適合規格	FCC Part 15 SubPart B Class A; ICES-003 Class A; EN55022 Class A; VCCI V-3 Class A; EN 55024; EN61000-3-2 Class A; EN 61000-3-3; CNS 13438 (2006) Class A; CISPR22 Class A; AS/NZS CISPR 22 Class A; KN 32; KN 35
環境規制への対応	RoHS、REACH、WEEE
温度 (動作時)	0~35° C (32~95° F)
湿度 (動作時)	10%~95%@40°C (結露なきこと)
温度 (非動作時)	-40°C~70°C -40° F~158° F
湿度 (非動作時)	10%~95%@60°C (結露なきこと)
動作高度	1,524 m

FireEye製品の詳細については、次のWebページをご覧ください。

[www.FireEye.jp](http://www.FireEye.jp)

ファイア・アイ株式会社 | 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22 テラスクエア8階 | 03-4577-4401 | [Japan@fireeye.com](mailto:Japan@fireeye.com) | [www.fireeye.jp](http://www.fireeye.jp)  
 FireEye, Inc. | 1440 McCarthy Blvd. Milpitas, CA 95035 | +1 408 321 6300 | 877.FIREEYE (347.3393) | [info@fireeye.com](mailto:info@fireeye.com) | [www.FireEye.com](http://www.FireEye.com)

#### FireEyeについて

FireEyeは、インテリジェンス主導型のセキュリティ企業です。顧客企業は、FireEyeの革新的セキュリティ技術、国家レベルの脅威インテリジェンス、世界的に著名なMandiant®コンサルティングの知見が統合された単一プラットフォームを、自社のセキュリティ対策の一部としてシームレスに組み込むことができます。このアプローチにより、FireEyeは準備、防御、インシデント・レスポンスといった、組織がサイバー攻撃対策をするうえでの課題となっていた複雑性や負担を解消します。FireEyeは「Forbes Global 2000」企業の45%以上を含む、世界67か国以上の6,600を超える組織で利用されています。

